

学級活動指導案（5年）

平成26年11月11日(火曜日) 第2校時 5年教室

1 議題 「 スポーツ大会をしよう 」

内容(1)学級や学校の生活づくり ウ 学校における多様な集団の生活の向上

2 考察

(1) 題材観

本題材は、学級活動の内容「(1)学級や学校の生活づくり ウ 学校における多様な集団の生活の向上」に関わるものである。

発達段階から、男女の遊びにも変化が見られるようになってきており、休み時間の遊びも男女分かれて、ということが多い。だが、体育の時間に全員でドッジボールをする際には、自然と男子の間には「女子にボールを当てるときにちょっと加減しよう」などの声が聞かれる。「雨の日の遊び方を考えよう」という議題で話し合いをした際には、遊ぶときのグループ編成の仕方について、「いつも同じ人ばかりで遊ぶのではなく、いろいろな人と遊べるように」や「男女で一緒に遊べるように」などの意見を出した者もいた。集団の一員としての自覚が少なめである児童でも、男女で活動する場面ではお互いを思いやり、みんなで活動することのよさを感じている部分もあると思われる。

また、運動会では「高学年として6年生と一緒に運動会を成功させよう」という議題で話し合ったことを皆が実行し下級生をリードしながら頑張ったり、陸上記録会では学校の代表として上を目指そうという目標に向かっていったりと、みんなで頑張ることのよさを味わうことができた。その流れを受け、今度は学級で「スポーツ大会をしよう」という声が挙がった。この議題を取り上げ、自分も友達も活躍できる種目を考えてみんなでその楽しさを体験し、みんなでやってよかった、楽しかったという経験を多く重ねることで、お互いのよさや新たな一面を発見し、学級の団結力も向上していくと考えられる。そして、一人一人が学級の一員としてより愛着を深め、学校生活の充実を図れるようにと考え、本題材を設定した。

(2) 児童の実態及び指導方針（男子16名 女子15名 計31名）

本校は、平成24年度に町の小学校4校が統合し誕生した。全校児童127人の小規模校であり、本学級は当初から単学級でこれまでを過ごしてきた。

話し合い活動については、自分の考えを進んで挙手・発言する児童は限られている。また、自分の意見は発表できても人の話を最後まで聞けなかったり、あらかじめ話し合いカードに書いてきたこと以外は自信が持てずに言えなかったりする者が多い。意見は持てても自信が持てず発表をためらったりしている様子も見られ、改善の必要を感じる。日頃から、人の話をよく聞くことを促し、意見の言いやすい雰囲気づくりに努めている。一方、一部の児童は、友達の見解を聞いて自分の考えを見直したり、いくつかの意見をまとめたりすることができるようになってきた。話し合いカードの記述から、建設的な意見を出し合う集団決定のよさに気付き始めている様子も見られる。

司会グループは輪番制で、これまでの経験から、各役割の仕事は概ね理解している。司会が話し合いを進めるおおよその手順も理解し始めている。しかし、たくさんの意見をまとめていくことや、話し合うことから意見が逸れてしまった際の軌道修正の仕方、話し合いが停滞したときの進め方等、教師の支援を必要とする場面も多く見られる。

そこで、指導方針として、「人の意見を聞いて、それを受けて話す」ことや「人の意見を聞いて、自分の考えを深める」「人の意見を聞いて、比べ合い、よりよい意見へと集団決定していく」など、話し合いを通して「聞く」ことを特に大切にしながら、聞き合い・分かり合おうとすることができるようにする。

3 研究との関わり

「集団としての意見をまとめていこうとする児童の育成」
 ～「話し合い大作戦！」を取り入れた学級活動(1)の指導の工夫を通して～

研究仮説

① 聞き合いタイム

「話し合い大作戦！」の出し合う過程において、聞く視点と学級の実態に合った聞き合いパターンを用いる「聞き合いタイム」を設定することによって、友達の意見を正しく理解し公平に判断して、様々な意見を受け入れることができるであろう。

② しんかタイム

「話し合い大作戦！」で、意見を聞き合った後に比べ合いの視点を手がかりとし、めあてに向かって自分の意見を見直す「しんかタイム」を設定することによって、自分の意見を集団としての意見へと深めていくことができるであろう。

③ 分かり合いタイム

「話し合い大作戦！」の比べ合う過程において、視点を与えた「分かり合いタイム」を設定することによって、みんなの意見のよさを生かしながら合意点を見いだすことができるであろう。

本時における具体的な手立て

- ① 聞き合いタイムでは、聞く視点である「うさぎの耳」を意識し聞くことを大切にして、友達の意見を正しく理解し公平に判断して受け入れられるようにする。また、聞き合いパターンのグループ入りパターンを用いて話し合いを進めることにより、意見を話しやすく分かり合いをしやすい雰囲気をつくるために、初めにグループ(少人数)活動を取り入れ、よりよい聞き合い・分かり合う話し合い活動ができるようにする。
- ② 聞き合いタイムの後にしんかタイムを取り、「しんかのもと」を手がかりとして自分の意見を改めて見直すことにより、自分の意見をめあてにより近づいたものへと深めることができるようにする。その際、黙って一人で考えるようにし、思考を働かせながら聞き合いを整理できるようにする。
- ③ 分かり合いタイムでは「うさぎの耳」「しんかのもと」「話す型」を用い、目的を持って聞き合いを受けて話したり、お互いの意見のよさを生かしながらみんなの意見をしばっていこうとしたりすることで合意形成できるようにする。

4 指導計画

【第5学年及び6学年の評価規準】

	集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学級活動(1) の評価規準	学級や学校の生活の充実と向上に関わる問題に関心をもち他の児童と協力して自主的に集団活動に取り組もうとしている。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために話し合い、自己の役割や責任、集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、信頼し支え合って実践している。	みんなで楽しく豊かな学級や学校の生活をつくることの意義や、学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の効率的な進め方などについて理解している。
聞くこと	自分と異なる意見にも耳を傾けようとしている。	公平に判断し多様な意見のよさを生かしながら聞こうとしている。	相手の意見を正しく最後まで聞こうとしている。
話すこと	話したいことが明確に伝わるように意見の発表方法を	建設的な意見を持ち、理由を明確にして順序立てて話そう	相手の意見を聞き、それをもとに自分の言葉で話そうとし

	工夫して話そうとしている。	としている。	ている。
分かり合うこと	多様な意見のよさを積極的に生かし、信頼し支え合って話し合い活動を進め、楽しく豊かな学級や学校生活をつくるためによりよい集団決定をしようとしている。		
折り合いを付けること	自分の意見を変容させたり、他の意見に譲歩したりして集団としての意見をまとめていこうとしている。		

時間	主な内容	伸ばしたい資質・能力		主な学習活動
		思考・判断・実践	知識・理解	
事前の活動	問題の発見 議題の選定 問題の意識化	<ul style="list-style-type: none"> 議題について自分の考えを持つことができる。 効率的な計画委員会の運営や話し合いの活動計画について考え、準備できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し合い活動の進め方を理解できる。 計画委員会の役割や話し合い活動の準備の仕方などの進め方を理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画委員会が学級の中から多く聞かれた声をもとにして、学校生活の向上につながるための話し合いにふさわしい議題を決定する。 めあてを確認し合い、どんなことに気を付けながら種目を決定すればよいか、団体種目か個人種目かそれぞれいくつくらい決めるかなどを朝や帰りの会などに話し合う。 話し合いの進め方等について確認する。 意見を話し合いカードに書いておく。
本時の活動	出し合う 比べ合う まとめる	<ul style="list-style-type: none"> よりよい学級の生活づくりに向けて考え、判断し、話し合える。 公平に判断し多様な意見のよさを生かしながら聞こうとしている。 建設的な意見を持ち、理由を明確にして順序立てて話そうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 司会や記録の仕方の役割や基本的な話し合い活動の進め方を理解できる。 相手の意見を正しく最後まで聞こうとすることができる。 相手の意見を聞き、それをもとに自分の言葉で話そうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 議題・めあて・話し合うこと・決まっていることを確認する。 計画委員会が準備した短冊を見て、どんな意見が出されているのかを知る。 まず少人数のグループで、お互いの意見やそう考えた理由を聞き合う。 次に全体で聞き合いそれぞれがどんな思いを持っているのかを分かり合う。 十分に聞き合い・分かり合う時間を取ったら、しんかタイムで、自分の意見を集団の一員としての意見へと深める。 折り合いを付けて集団決定する。
事後の活動	実践	<ul style="list-style-type: none"> 自他の役割、創意工夫などについて考え、信頼し支え合って実践している。 	<ul style="list-style-type: none"> 決定したことについて、みんなですべて効率的に実践することの意義や方法について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> みんなが楽しく、効率的に行えるよう、担当ごとに細かいルールや必要なことを決めて全体に知らせる。 みんなですべて決めた種目を仲良く行う。 話し合いで決まったことを主体的に実行することができたか発表し合う。

【事前の計画委員会の活動】

日時	児童の活動	指導上の留意点	目指す児童像と評価方法
10月24日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> 計画委員会を組織する。 話し合いの活動計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学級の中から挙げてきた児童の声を参考にして議題を決定し、めあて 	【知識・理解】 <ul style="list-style-type: none"> 話し合い活動の進

	<ul style="list-style-type: none"> ・役割分担をする。(昼休み) ・アンケートの作成。(休み時間) 	<ul style="list-style-type: none"> や議題設定の理由をまとめられるようにする。 ・あらかじめ得意な種目のアンケートを取っておき、「みんなが活躍できる」というめあてに沿って考えるための手助けとなるようにする。 	め方について理解している。 ・話し合いの際に、計画委員としての役割や気を付けなければいけないことについて、記述している。(計画委員の活動計画)
10月30日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ・計画委員会の紹介。 ・議題や話し合い活動の進め方等を説明し、学級活動コーナーに掲示する。アンケートの説明と配布。(帰りの会) 	<ul style="list-style-type: none"> ・何のためのアンケートか、意義が伝わるよう説明できるようにしておく。 ・話し合いの進め方についての補足や、その他注意事項については、事前に教師が指導する時間を取り、徹底できるようにする。 	
11月4日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの回収と集計。(朝の会・休み時間) 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に提示できるように、アンケート結果をまとめられるようにする。 	
11月6日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果を提示しながら、どんなことに気を付けながら種目を決定すればよいか、団体種目か個人種目かそれぞれいくつくらい決めるか等を全体で話し合っておく。(朝・帰りの会) ・話し合いカードを配布して自分の意見を書いてもらう。(朝・帰りの会) ・進行表、板書計画の作成。(放課後) 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートをもとに、めあてに合った意見を考えられるよう全体に説明できるように、打ち合わせておく。 ・ここで決まったことを、学級活動コーナーに掲示できるようにする。 	
11月7日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いカードを回収し、意見を分類して短冊に書いておく。(休み時間) ・話し合いの進め方を確認する。(休み時間) 	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示用に大きく書き話し合い前に黒板に貼っておくよう打ち合わせておく。 ・集団決定の前に「集団のためによりめあてに近づいた意見にする」ことを、全体に改めて意識付けできるよう打ち合わせておく。 	

5 本時の展開

- (1) ねらい みんなが活躍できるような「スポーツ大会」をしよう。
- (2) 準備 教師：司会団の席次札、議題・めあて・話し合うことの掲示用カード
 児童：話し合い大作戦！カード(話し合いカード)
 計画委員：進行表(全員)、座席表(指名係)、板書計画(黒板記録)、
 学級会ノート(ノート記録)、「得意な種目アンケート」の結果、
 みんなの意見を書いた短冊

(3) 展開

学習活動 予想される児童の反応	時間 (分)	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童への支援 ◇評価 ☆研究との関わり)
【開始前】短冊を見てみんなの意見を知る。		・あらかじめ計画委員会が準備した短冊を利用し「出し合う」時間を省略し、「分かり合い」

<p>◎団体種目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドッジボール・長縄とび ・バスケットボール・蹴り野球 ・リレー など <p>◎個人種目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短縄跳び ・障害物競走 ・借り物競走 など 		<p>の時間を確保できるようにする。</p>
<p>1 議題、提案理由、めあて、話し合うことを確認する。</p>	<p>3</p>	<p>・司会の声の大きさや話し方が不適切であった場合には助言する。</p>
<p style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 議題 スポーツ大会をしよう。 めあて みんなが活躍できるような「スポーツ大会」をしよう。 話し合うこと みんなが活躍できる種目を決めよう。 </p>		
		<p>☆会を通して、聞く視点「うさぎの耳」で聞くことを意識できるよう声がけできるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画委員の紹介等は事前に済ませてあるので省略する。 ・提案理由やめあては話合いの拠となるものなので、全体にしっかり伝えられるようにする。 ・今まで学級活動コーナーに掲示してあった「得意な種目アンケート」の結果も提示し、参考にしながら考えられるように提案することを打ち合わせしておく。
<p>2 話合い</p> <p>① 小人数グループで 聞き合いタイム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話しやすい気持ちを持つ。 ・どうしてそう思ったのかを聞き合う。 ・自分の考えに自信を持つ。 <p>② 全体で 聞き合いタイム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰がどんな意見を持ち、どうしてそう思ったのかを聞き合い、様々な意見を受け入れる。 <p>③ しんかタイム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの聞き合いを振り返り、自分の意見を見直して、個から集団への意見へ深める。 <p>④ 分かり合いタイム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全員の意見を比べ合い、練り合っ、お互いの意見のよさを生かしながら 	<p>5</p> <p>1 0</p> <p>3</p> <p>2 0</p>	<p>◎話合いカードにあらかじめ教師が目を通して励ましなどのコメントを入れておくことで、自信を持って話合いに臨み発表できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話合いカードをもとに出されそうな意見を計画委員にアドバイスして把握させておくことで、話合いの流れを予測しながら自分たちの力で進行できるようにする。 <p>☆「聞き合いパターン」のグループ入りパターンを用い、初めに小人数グループで話しやすい気持ちを持って聞き合い、お互いを分かり合えるようにする。また、自分の意見に自信を持って全体で話す前の準備にもなるようにする。</p> <p>☆小人数での聞き合いをもとに、話しやすい雰囲気の中、全体で聞き合い、友達意見を正しく理解し、公平に判断して受け入れられるようにする。</p> <p>☆「しんかのもと」を手がかりとし、めあてに向かって自分の意見を整理することで、自分の意見を改めて見直し集団の一員としての意見へと深めていけるようにする。</p> <p>☆「うさぎの耳」「しんかのもと」「話す型」を用い、目的を持って聞き、それを受けて話すことで、みんなの意見のよさを生かしながら、</p>

<p>合意点を見いだす。</p>	<p>集団としての意見をまとめていくことができるようにする。</p> <p>☆めあてである「みんなが活躍できるスポーツ大会をしよう」を意識付けてから分かり合いタイムに入れるよう、計画委員と打ち合わせしておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公平に判断し折り合いが付けられるよう支援する。十分に分かり合えている場合には、多数決を取るのもよいことを理解させる。 ・児童の発表に対しては頷きながら聞き、良い態度に対しては賞賛し、自信を持たせたり真似しようとしたりできるようにする。 ・めあてである「みんなが活躍できそうな」というところが大事であることを司会者とよく確認しておき、話が逸れてしまった場合には、修正できるよう促す。 <p>◎カードに書かれていることをもとに、自信を持って自分の意見を発表できるよう言葉がけする。</p> <p>◇思考・判断・実践</p> <p>公平に判断し、集団の一員として多様な意見のよさを生かしながらまとめようと話し合っている。(観察・話し合いカード)</p>
<p>3 振り返り</p>	<p>4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・司会グループの頑張りを認め合う場をつくる。 ・それぞれの頑張りを認め、賞賛して、次回の学級会への意欲を持てるようにする。

(4) 板書計画

集団のために めあてにより近づいた 意見にしよう

つな引き

リレー

なわとび

けり野球

サッカー

話し合うこと

みんなが活やくできるスポーツを決めよう。

- ・休み時間、している人が多い
- ・好きな人が多い。
- ・みんながルールを知っている。

●

下

- ・強い人ばかり活やくしてしまう。
- ・ケンカになる。

決まっていること

- ・十一月二十日(木)五・六校時に行う。
- ・校庭または体育館で行う。
- ・個人種目を一つ
- ・団体種目を二つ決める。
- ・種目が決まったら、それぞれの担当を決めて準備する。

議題

めあて

スポーツ大会をしよう。

みんなが活やくできるようなスポーツ大会をしよう。

第六回 話し合い大作戦!

アンケート結果

得意な種目	人数
・ドッジボール	8人
・サッカー	7人
・けり野球	5人
・なわとび	9人
・リレー	2人
・つな引き	1人